

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の名称

施設の名称	小平町やすらぎ滞在交流拠点施設		所管課名	経済課農林係				
所在地	小平町字小平町469番地の3		設置年月日	平成17年12月29日				
施設設置目的	都市と農村の交流を図るため。							
主な施設・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊研修棟（客室、エントランスホール、食堂、厨房、炊事室、シャワー室、事務室等） 737.325 m² ・加工研修室棟（加工室、パン加工室、休憩室等） 194.4 m² ・渡廊下棟 21.6 m² ・バーベキュー施設 焼き台4台 ・物置小屋 1棟（プレハブ） ・駐車場（普通車17台） 							
指定管理者名	株式会社 STAY OBIRA							
選定方式	公募 非公募	<p>【非公募の理由】</p> <p>① 当該施設の性格、規模及び機能により公募することが適さないと認められるとき。（規則第6条第1項第1号）</p> <p>2 公募に対し応募者がいないとき。（規則第6条第1項第2号）</p> <p>3 指定管理者の候補者に選定された団体をしてすることが不可能となり、又は著しく不相当と認められる事情が生じたとき。（規則第6条第1項第3号）</p>						
		(特記事項)						
指定開始年度	令和2年度							
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで（5年間）							
指定管理者の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持及び管理に関する業務 ・施設の使用の許可に関する業務 ・施設の使用料の徴収及び減免、返還に関する業務 							
利用料金の導入	あり(施設使用料)・なし							
施設の利用実績	利用区分等	利用実績(人)						
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
	やすらぎ滞在交流拠点施設利用者数	1,152	869	1,109	1,149	1,345		
	宿泊	236	192	446	433	542		
	加工室	729	638	561	484	449		
	体験	10	16	38	18	83		
その他	177	23	64	214	271			
(特記事項)								
<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から令和元年度までは町直営 ・令和2年度から株式会社 STAYOBIRA が運営 								
指定管理料	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度			
	8,200,000円	8,200,000円	8,200,000	8,200,000	8,200,000			
(特記事項)								
指定管理者職員体制	合計	8人	職員	5人	臨時	3人	パート	人
(その他特記事項)								

2 町（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づき、その水準が達成されているか町が点検・評価するものです。

■評価の基準

優 良：高いレベルで実施されており高く評価できる。

良 好：事業計画書どおりに適切に実施されており、問題は見られない。

普 通：事業計画書どおりに概ね適切に実施されているが、一部不適切な部分を確認されたが改善済みである。

不十分：不適切な部分を確認されたので、改善を要する。

大項目	中項目	評価項目	評価				評価に対する説明
			優 良	良 好	普 通	不 十 分	
管理能力	団体の概要	団体の経営状況はどうか		○			
		当該施設管理運営をサポートする体制はあるか		○			
	適切な管理運営	町の方針、施設の設置目的等を理解した管理はされているか		○			
		町が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか		○			
		公共の仕事という倫理性や法令遵守を認識し対応しているか		○			
		町や関係団体等と連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか		○			
	町民の平等利用	正当な理由なく一部の町民に利用制限や優遇が行われていないか		○			
		事業内容に偏りがなく、利用者が限られることはないか		○			
	適切な組織・体制	職員体制や配置人員は適切であるか		○			
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切か		○			
		労働関係法令を遵守した規定を整備し、職員の適正な労働条件を確保しているか		○			
	職員研修・人材育成	職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか		○			
	経理及び事務処理	会計処理の基準等に基づき適正な事務処理となっているか		○			
		経理帳簿等を整備し、情報公開や監査請求に対処できるか		○			
		必要に応じパソコン等 I T 機器を活用できるか		○			
		施設や設備の保守点検は、必要な基準や仕様を満たしているか		○			
		業務報告や事業報告が適切に作成されているか		○			
	安全管理	安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか		○			
		施錠、警備体制等は適切であるか		○			
		利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか		○			

	緊急時対応	事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか		○			
		避難経路の確保や避難時に支障をきたす障害物はないか		○			
	個人情報保護	個人情報の管理方法においてセキュリティ対策を講じているか		○			
	秘密の保護	職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか		○			
施設の運営	業務内容	業務について処理・対応が適切に行われているか		○			
		管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか		○			
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか		○			
		年間の事業量が適切に実行されているか		○			
	業務の第三者委託	業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	-	-	-	-	
		再委託先から適切に業務報告をさせるなど再委託の管理が適切か	-	-	-	-	
	経費節減・業務効率化	経費節減や業務効率化が継続的に行われているか		○			
	備品等の維持管理	引き渡した備品等に過不足はないか		○			
		引き渡した備品等はその機能が失われていないか		○			
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか		○			
	利用者サービス	利用者サービスの向上に努めているか		○			
	障害者等への配慮	障害者、子ども、高齢者等に配慮した管理がされているか		○			
	苦情等への対応	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応しているか		○			
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われているか		○			
	環境への配慮	省エネ等の環境に配慮と廃棄物処理は適切か		○			
	地域との連携	地域住民等との連携に積極的に取り組んでいるか		○			
	自主事業	サービスの向上かつ収入増に結びついたか		○			
		収支のバランスはとれているか		○			
	特記事項への対応	募集要項における特記事項について考慮されているか		○			
	事業報告書	事業報告書と事業計画書を比較し、収支の過小、過大はないか		○			

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和6年4月10日～令和7年3月28日
	調査対象	宿泊客、加工室利用者、加工室利用者会議参加者
	調査方法	口頭
調査結果	<p>部活動での合宿や宿泊研修でお越しの学生、一般宿泊客、加工室利用者から設備の不足や不備、要望についてお聞きし、加工室備品についてご意見を頂いた。宿泊のお客様からは、清掃が行き届いており快適に過ごせたと高評価を頂いた。</p>	
利用者からの意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・スタレの糸が切れており、修繕をお願いしたい。 ・豆腐製造で使用する中型ヘラに亀裂あり。衛生面にも良くないし、今にも壊れそう。木製ではなく樹脂製の物を用意してほしい。 ・豆腐加工室の青色のプラスチック製ザルにひび割れがあり、交換して欲しい。スチール製は網の目が小さくすぐに詰まるので、耐久性は落ちるがプラスチック製が良い。 	

4 指定管理者による自己評価

今年度の自己評価	<p>宿泊予約のキャンセルが2団体あったが、予想より多くのお客様にご利用いただき、昨年比+10%の売上げとなった。新たな顧客獲得として、無線クラブの団体様にご利用いただいた。これは、Webサイトの情報から予約に繋がっており、確実に効果が上がってきている。</p> <p>毎年2回のご利用でリピート頂いているお客様からは、すでに来年度3回のご予約を頂いており、WebサイトやSNSの利用頻度が少ない一般客層のご利用で、別グループでの来館に至った口コミ効果である。来町の目的の多くは、「食」であり、新鮮な魚介をその季節の旬に味わうことである。「宿泊」を目的として来町する一般のお客様はおらず、目的を達成するための宿泊で当館を利用するのであれば、その目的を提供するため、夜釣り体験を企画した。ところが残念ながらお一人様でのご利用で、体験のみとなり当館宿泊には至らなかった。このことから、団体宿泊に繋げる目的の提供を考えて行くことは今後の課題でもあると考える。</p> <p>加工室収入について、昨年比-6%となった。利用者数と利用回数の減少によるところが大きく、更に6年度をもって解散した団体もあることから、来年度は一段と厳しい状況となると考えられる。一昨年度よりの新規団体も高い頻度での利用ではない。新機器の導入を考えるも、コストと利用頻度を鑑み導入不可となった経緯もあり、利用料金の増額による単価増だけでは回復は難しいと感じる。しかし、利用団体の意見をよく聞き、現状で出来得る範囲でより利用しやすい環境を提供することが一番と考えるし、新たな加工品の制作を諦めず模索していきたい。</p> <p>口コミでの利用者増加もあり、着実に関係人口は増えていると感じられる一年であった。この輪を更に広げて行けるよう、より良い宿泊を提供できるよう努め小平ファンを増やしていきたい。</p>
----------	--

今後の目標	<p>デイワークを導入し一定期間の労働力を確保している農家が増加している。7年度より、宿泊ターゲットをデイワーカーへ広げ、「農家さんのデイワークの宿泊の場」として提携することとした。これは、小平町に宿泊する目的作りを行う弊社と、宿泊できる場所探しでお困りの農家が互いに協力しあう形で、毎年一定数の宿泊数をできるものとする。田植え時期である5月中旬からの利用で閑散期の集客に繋がり、その間に体験プログラムにも興味をもって頂く考えであり、関係人口増加の一端を担っていく。</p> <p>加工室利用についての利用率は年々減少している。製造量の減少や高齢化による所が大きく、今後増加に転じるのは難しく思えるが、利用者のニーズに沿った機器の導入や、新規団体の獲得から定期利用に至るよう動向を注視し、意見や希望を反映させるよう努力した運営を引き続き行っていく。</p> <p>体験プランや宿泊について、旅行会社や町内事業者と協力体制を敷き集客に努め、全体で利用料195万の売上を目標としたい。また、無駄な経費の削減として、設備破損などの不注意事故を無くし、冬季閉館した後の節電事項である客室とシャワー室の除湿を最小限に抑え、引き続きエネルギー高騰、物価上昇に少しでも対応していく。</p>
-------	--

5 町（所管課）による総合評価

<p>令和5年度と比較し施設利用者は増加したが、加工室利用者が年々減少している。解散した加工室利用グループもあると思うが、新規利用者を獲得し、定期的に利用してもらおうよう努めていただきたい。</p> <p>集客向上のための取り組みや物価高騰の影響で経費削減に努めているが、収益につながるような効果を期待したい。</p> <p>当町の農泊観光をより一層推進していただきたい。</p>	総合評価結果			
	優良	良好	普通	不十分
			○	